

## 平成17年度事業報告書

### I. 総務関係

#### 1. 会員数の異動

年度内の会員の異動は次のとおりであった。

	16年度末	入 会	退 会	17年度末
正 会 員	432	12	8	436
準 会 員	27	7	—	34
合 計	459社	19社	8社	470社

支部別の会員数は次のとおり。

	関東支部	中部支部	関西支部	合 計
正 会 員	228	107	101	436
準 会 員	27	3	4	34
合 計	255社	110社	105社	470社

#### ◎支部別会員の異動

地区別	会員区分	平成17年 3/31現在	加 入	脱 退	平成18年 3/31現在
関 東	正会員	229	4	5	228
	準会員	22	5	—	27
中 部	正会員	107	1	1	107
	準会員	2	1	—	3
関 西	正会員	96	7	2	101
	準会員	3	1	—	4
合 計		459社	19社	8社	470社

(参考) 10年間の会員会社数の推移

◎各年度とも年度末現在の会員数、( )内は準会員会社で、外数

	関東支部	中部支部	関西支部	計
平成 8年度	258 (26)	112 (2)	134 (4)	504 (32)
平成 9年度	251 (26)	109 (1)	132 (4)	492 (31)
平成10年度	248 (26)	108 (1)	122 (4)	478 (31)
平成11年度	241 (24)	109 (0)	118 (3)	468 (27)
平成12年度	242 (23)	105 (0)	114 (4)	461 (27)
平成13年度	234 (22)	103 (0)	106 (5)	443 (27)
平成14年度	226 (21)	107 (1)	102 (5)	435 (27)
平成15年度	228 (19)	106 (1)	97 (4)	431 (24)
平成16年度	229 (22)	107 (2)	96 (3)	432 (27)
平成17年度	228 (27)	107 (3)	101 (4)	436 (34)

## 2. 総会、理事会等の会合の開催

通常総会1回、理事会7回、政策委員会1回を開催した。

通常総会では、平成16年度事業報告及び収支決算、平成17年度事業計画及び収支予算について承認された他、理事・監事の辞任に伴う補充選任を行った。また、臨時理事会では、伊東副会長（愛三工業）の辞任により、後任に豊田理事（アイシン精機）が副会長に選任された。この他、工業会の中長期的な財政基盤の安定確保のため、正副会長等打合せ会の諮問機関として会費問題検討タスクフォースを設置して、工業会の会費基準や海外特別会費のあり方について検討した。

## II. 国内業務関係

### 1. 自動車工業会等関係団体との連携

自動車産業を取り巻く当面の諸問題に対応するとともに、自動車部品業界の労務対策、経営改善、税制改正要望等の諸問題に対する理解と協力を求めるため、日本

自動車工業会（自工会）、自動車総連等との会合を通じて、要望や意見交換を行った。

## 2. 総務委員会の運営

総務委員会においては、「経営調査」、「税制」、「労務」、「広報」の4部会を中心に自動車部品工業の諸問題について検討を行うとともに、関係官庁、自工会等の関係団体への説明、意見交換等を行った。

また、自動車部品産業のものづくり力強化への支援として、自工会と連携をして、自工会/部工会「ものづくり研究会」を設置し、自動車部品産業のものづくりの実態を調査するとともに、今後の研究会の活動の方向性について検討を行った。

## 3. 経営調査（経営調査部会）

### （1）経営調査部会

自動車部品工業の経営実態を明らかにするため、大企業（上場企業）及び中小・中堅企業の決算状況について取りまとめを行い、その結果については会員企業の経営参考資料として提供するとともに、関係団体との懇談会等において活用した。また、自動車・部品産業の動向に関する講演会を開催した。

### （2）部工会国内団体P L保険制度及び海外団体P L保険の運営

## 4. 税制対策（税制部会）

平成18年度の税制改正要望を取りまとめて関係政党、関係省庁への会合において要望を行うとともに、自工会等関係団体と協力して要望実現に努めた。なお、要望書の取りまとめに際しては、総務委員会、中小企業施策委員会委員会社を対象に税制改正要望の取りまとめに関する意向調査を実施し、要望書の取りまとめに反映させた。

また、自動車関係19団体で組織されている「自動車税制改革フォーラム」に参加し、道路特定財源の一般財源化反対に向けた署名活動や総決起大会等の各種活動に積極的に参加した。

## 5. 労務対策（労務部会）

### （1）労務部会

労務部会と人事労務研究会の活動内容及び今後の体制のあり方について検討を行うとともに、労働安全衛生法に関する講演会を開催した。

### （2）「人事労務研究会」の設立、運営

平成17年度から従来の自工会、日本自動車車体工業会（車工会）と連携して運営を行っていた、「人事労務連絡会」活動が各工業会の専管となり、部工会では「労務部会」の下部組織として「人事労務研究会」を設置し、労政問題、安全衛生問題、国際人事問題、卓越技能者の推薦等の運営を行った。

### III. 国際業務関係

国際委員会を3回、幹事会を3回開催したほか、F T A通商部会を4回、知的財産権部会を3回開催した。また、国際交流、国際会議では、自工会とともに日タイF T A促進ミッションに参加したほか、第9回日米欧三極自動車部品会議を開催した。その他、ロシア、インドへ視察団を派遣した。

### IV. 技術関係

#### 1. 総合技術委員会の活動

総合技術委員会は、委員会を3回開催したほか、分野別の各部会等を開催してそれぞれの課題に取り組んだ。

開催日：平成17年6月14日（火） 自動車部品会館  
10月4日（火） 自動車部品会館  
平成18年3月10日（金） 自動車部品会館

- ・基準の国際調和活動への対応

UN/ECE/WP29を中心とした基準の国際調和活動に関して、欧州部品工業会（CLEPA）及び米国部品工業会(MEMA)と協力して取り組み、基準認証部会が中心となって品目別委員会と連携して対応した。

- ・自動車基準認証国際化研究センター(JASIC)への協力

JASICの委員会等に代表を派遣してJASICの活動に協力すると共に、活動資金1千万円を協力した。

- ・国内基準への対応

ECE規則採用に伴う国内基準改正作業に協力し、告示化作業に協力した。

- ・アジア地域の基準認証制度への対応

JASIC主催の官民会議(G/I meeting)に参加して、アジア地域の部品別専門家会議(ECE/WP29/分科会のアジア版)の創設に向けた準備を行った。

中国の認証制度(CCC認証制度)については、認証の対象部品の拡大が公表されたので、トヨタ自動車(株)と共催で説明会を開催するなど、関係方面と協力して対応を図った。

- ・部品の国際標準化対応

部品に関する国際標準化(ISO)の推進に参加協力した。

- ・部品の国内標準化への対応

経済産業省の標準化事業への協力、(社)自動車技術会（自技会）他関連団体の標準化事業への協力を行った。

- ・ITS対応

ITS部会を新設し、ITSに関する課題の整理と今後の対応、会員への情報提供

について検討した。

- ・新技術関係の情報収集

「次世代高性能・環境対応型ディーゼルエンジン技術」及び「モード解析」の講演会を、自技会関東支部との共催で開催した。

- ・環境対応

環境委員会が中心になって、自動車リサイクル法への対応、地球温暖化防止対策への対応、環境自主行動計画の見直し、IMDS の運用と有害物質削減への対応、揮発性有機化合物(VOC)規制動向への対応、省エネ法改正への対応等の課題に取り組んだ。

- ・電子情報化への対応

電子情報化委員会が中心となって、JNX 接続拡大、JNX を利用した副資材調達(e-MP)の拡充、EDI、CAD、JNX 等の課題の検討、ASEAN 地域における電子タグ実証実験に取り組んだ。

- ・交通安全運動への取り組み

内閣府が中心となって行う交通安全推進運動に協力し、主としてチャイルドシートの普及と適正使用の啓発運動を行った。

- ・JAPIA 技術情報の発行

基準の制定・改正等の法規情報、各種技術情報を会員各社にお知らせした。

## 2. 環境委員会

環境委員会は、本委員会を 2 回、環境委員会幹事会（揮発性有機化学物質関係【VOC : Volatile Organic Compounds】、環境自主行動計画関係）を 3 回開催し、事業の推進状況、課題等へ対応について検討し、関係会議へのタイムリーな報告を実践した。

今年度の最大事業は、製品に含まれる環境負荷物質の調査に関して、作業負荷を低減し、信頼性あるデータの提供のため、IMDS【International Material Data System】との整合性の取れた第二次 JAMA/JAPIA データシートを発行することであった。関連事業は、幹事企業の積極的な協力で、年度内に目的を達成し、その成果を JAPIA ホームページで公開した。当事業達成のため、会員会社へデータシート改訂内容説明会を 5 回実施した。説明会を含め、自工会、ソフト開発会社等の調整会議など、会合は、全体で 48 回に及んだ。

今年度よりスタートした製品環境指標に関するワーキングは、弱電メーカーとの意見交換を含め 10 回開催し、会員各社の協力で指標に関する基本的な考えと試算のトライアルにまで進捗し、自社の製品を環境面で PR できる製品指標について、基礎固めができた。

環境自主行動計画の柱である CO2 排出量（使用エネルギー）関係は、会員各社の出荷額の増加により、基準年度である 90 年の CO2 排出量に極めて近く、今後の成長による影響を考えると、目標達成が難しくなりつつある。さらに新規課題である揮発性有機化合物 (VOC) に関する排出削減に関する自主目標値を関係部署に報

告した。特に有害大気汚染物質に関する排出削減に関しては厳しい目標値を設定し、積極的に大気排出量の削減に向けての指針徹底をはかった。

#### 委員会開催 2 回

平成 17 年 4 月 8 日（金）～9 日（土）、平成 17 年 12 月 15 日（木）、  
自動車部品会館会議室、名古屋

### 3. 電子情報化委員会

電子情報化委員会ならびに幹事会は各 2 回開催し、全体の進捗状況の報告を行なうと共に具体的課題の解決、指針等の決定にあたった。

JNX (Japanese automotive Network eXchange) は、平成 12 年 10 月本格運営を開始し、6 年目になる。平成 16 年度末には接続会社が、1,444 社となり、接続社数の目標 1,300 社を大きく上回り、目標を達成した。各社サービスの拡大に伴い増加傾向にあり、今後ともコンテンツの充実が必要である。

新規事業として、平成 17 年度経済産業省公募による「平成 17 年度エネルギー使用合理化電子タグシステム開発調査事業 (ASEAN 地域における電子タグ実証実験)」に業界として応募し、所定の成果を得ることができた。工業会内において情報の共有化を実践すべく、電子情報化委員会の下部組織に電子タグ研究会を設置し、研究会を 3 回開催した。参加会員会社は 22 社であった。

電子調達関連の EDI 検討会は、幹事会も含め 5 回開催し、標準帳票に関する課題の解決にあたり、更なる標準化推進への課題を含め、帳票展開の課題等の抽出にあたった。また経済産業省が推進している中小企業のための EDI の推進母体として発足した「共通 XML/EDI 実用化推進協議会」に参画し、自動車業界として利用可能なシステムか否かについて検討を開始した。

CAD 研究会は、自工会との共同事業中心に事業を展開した。研究会は幹事会を含め 21 回開催し、進捗状況における課題等の意見具申を実施した。特に自主事業として CAD 運用上における会員各社での問題を提出することにより、更なる情報の共有化を図るとともに、会員各社の課題の共通性を再認識した。

自工会との CAD 共同事業として、CAD データの品質を討議する PDQ (Product Data Quality) 情報交換会を 2 回開催し、3 次元図面の品質をチェックするツール、品質レベル、内容項目等について、情報の共有化に努めた。

#### 委員会・幹事会開催 4 回

平成 17 年 4 月 7 日（木）、平成 17 年 6 月 8 日（水）、平成 17 年 6 月 28 日（火）、平成 17 年 10 月 25 日（火）、平成 17 年 12 月 14 日（水）、自動車部品会館会議室

## V. 特定問題および特定業種に関する委員会等

### 1. 中小企業対策

- (1) 中小・中堅会員企業のビジネス機会拡大への支援活動として、平成 17 年 9 月に本田技研工業(株)及び関連部品メーカーを対象とした第 2 回技術商談展示会を栃木県で開催した。

- (2) 各支部との連携を図り、ISO14001 の内部環境監査員の養成講座、ISO/TS16949 の規格解説、内部監査員養成講座等を随時開催した。
- (3) 中小・中堅会員企業の経営実態を把握するために経営動向調査（期末、中間）を実施し、中小会員企業の経営の参考資料として提供した。
- (4) 中小企業のものづくりを支援する活動として昨年度設立したものづくりWGの活動を行った。
- (5) 国内外の自動車産業の動向に関するレポートの提供、中小企業が抱える課題等に関する講演会等の開催により情報提供活動を行った。

### 3. 補修部品用品委員会

- (1) 補修部品用品委員会
- (2) 第4回国際オートアフターマーケットEXPO（IAAE）開催への協力
- (3) 自動車補修部品カタログ閲覧業務の実施

### 4. 二輪車部品委員会

自動車工業会二輪車特別委員会（二輪車メーカーの4社）との懇談会を開催し、最近の国内外の二輪車業界の動向や諸課題について意見交換を行った。

また、補修部品用品委員会との共催によりインドの自動車・部品産業に関する講演会を開催した。